

2026 年 2 月

日建連 第 7 回作業所長講演会 アンケート質問及び回答

2025 年 10 月 10 日に開催しました日建連 第 8 回作業所長講演会において、会場並びに Web 聴講者の皆様から頂戴したアンケートへの質問について、講演頂いた作業所長の皆様にご回答頂きましたのでご確認ください。(多数の質問を頂いたため、類似の質問は集約しておりますのでご了承下さい)

なお、当回答は日建連として回答したものではなく、作業所長様個人の回答であること、ご留意ください。

また、質問への回答は、本回答をもって最終とさせていただきますのでご了承下さい。

日建連 施工部会 生産性向上専門部会

講演1 株式会社 安藤・間 小澤様への質問・回答		
	質問	回答
1	業務の効率化についてですが、工事写真や各種書類作成を施工アプリで効率化に繋げたいのですが、どの様なアプリを使用しているか教えてください。	「direct」による情報共有、「ビルダースポイント」による技能者のモチベーション向上、「施工進捗アプリ一元管理(三和シャッター)」による進捗管理、「環境機器設置」による近隣対策、「デジタルサイネージ」による掲示物電子化、自社ソリューション「N-Pass」による新規入場教育、「カオカラ」による熱中症対策、「eYACHO」によるペーパーレス化、「トランスコスモス」社による工事写真整理業務、「外部足場BIM、ニッケンリス工業」による搬入数量管理等になります。
2	完全土日週休二日制を実施されているという話でしたが、工程計画を立てる際に自然災害などによる休工期などは、どのように考慮されて計画されたのか教えてください。	土日の休日、躯体工事期間の月1日休工期(雨天)を見込んでいます。
3	小規模現場への若手所長の登用を進められているという話でしたが、その場合は、たとえ小規模現場でも所長、主任、係員などのような組織を組成されているのか？もしくは、一人現場の所長なのですか？一人現場の場合、なかなかマネジメントに集中できず、結果としてただ忙しいだけになるのではないかと危惧しました。	所長・副所長・主任・係員を、建物規模により配置しています。小規模であれば一人現場の場合もありますが、事務員さんは必ず配置するようにしています。もちろん忙しい状況にはなりますが、結果として良い経験になることは間違いないと思います。
4	技術力の継承という事で第1~4週に分けて夕礼後に行っているとの事ですが、実際のタイムスケジュールをお伺いしたいです。	毎週月曜日、15:30~の夕礼後、30~45分程度で開催しています。作業終了後の現場確認業務もある為、16:30完了を目標に行っています。
5	作業環境の改善のところで、従来とのコスト差がどれくらいあるのでしょうか。	各種取り組みについては、初めての取り組みがほとんどであり、現場が竣工してからコストも含め検証しようと思っています。まずは導入し、取り組んでみて、改善点を提案する気持ちで取り組んでいます。そうすることで、実情に即した効率化施策が生まれてくると思います。
6	作業環境の改善で一番意識されたことがあればご教示ください。	一番はコミュニケーションの活性化を意識して計画しました。事務所の配置計画・ミーティングエリアを各所に設置・開放的なテラス計画がコミュニケーション活性化を図った部分です。
7	生産性向上に向け、若手と一緒に考えていく仕組みづくりについて、実際夕礼の後、どの程度の時間を割いているのでしょうか。	4番の質問の回答と同じ

講演2 前田建設工業株式会社 宮元様への質問・回答

	質問	回答
1	業務の効率化を図るために、現場で活用されている施工アプリの種類や選定理由について、具体的に教えてください。どのような機能が効率化に貢献しているかもご説明いただけますと幸いです。	<ul style="list-style-type: none"> ・社内システムでTPMというツールがあります。安全・労務管理の情報を工事月報や災害防止協議会資料、環境関係データと共有できているので資料作成など時間短縮に繋がります。 ・汎用ツールとしては、ダイレクトやe野帳、快作レポートを使用しています。
2	3Dモデルの運用に関して、CADオペレーターは自社職員が担当されているのか、あるいは派遣社員など外部人材を活用されているのか、体制や運用方法について詳しくご教示ください。	<ul style="list-style-type: none"> ●人数 ・自社職員:1人 <ul style="list-style-type: none"> →BIM調整会議、施工図チェック、修正 ・派遣社員:3人 <ul style="list-style-type: none"> 1人目 <ul style="list-style-type: none"> →3Dパース作成、平面詳細図修正 2人目 <ul style="list-style-type: none"> →躯体図修正、展開図修正、B工事作成 3人目 <ul style="list-style-type: none"> →平面詳細図修正、天井伏図修正
3	現場の生産設計における職員構成やBIMオペレーターの人数について、また、変更が多い中でモデルの更新作業をどのようにスケジュール管理されているか、注意点や工夫も含めてご説明いただけますか。	<ul style="list-style-type: none"> ●人数 <ul style="list-style-type: none"> →上記参照下さい。 ●モデル更新作業 <ul style="list-style-type: none"> →毎週月曜日変更内容確認。次週の月曜日に図面(PDF)の書出しを行う。修正の都度、ダイレクトにて修正内容を周知。作業所終礼で報告。Excelにて変更日を管理。図面にて変更日と雲マークを記載。紙図面を業者に配布する場合は、所長印+日付を貰い、施工図配付台帳に記入することで最新版管理。
4	3Dモデル一貫運用や2Dで修正を行わない取り組みについて、実施にあたって重視されているポイントや、現場での具体的な運用方法について教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> ●重視しているポイント <ul style="list-style-type: none"> →施工図にて使用するソフトはRevitのみとしている。2DCAD(Jww,AutoCAD)は使用しない。 ●現場での運用方法 <ul style="list-style-type: none"> ・NavisWorksを使用。異種間調整の効率化。(協力会社) ・Twinmotionを使用。リアルパースによるディテール確認。(施主、設計者)
5	S造ホテルやRC造分譲マンションなどの工事計画において、BIMを活用することで発生したコスト面の課題や、費用対効果について、実際の事例を交えてご説明いただけますか。	<ul style="list-style-type: none"> ●コスト面の課題 <ul style="list-style-type: none"> Revit(BIM)で施工図を作成し、現場で変更、修正対応する為初期施工図作図費用と維持管理費用。(設計施工等で、設計からBIMを使用していれば初期費用は抑えられます)ハイスペックPCが必須になります。 ●費用対効果 <ul style="list-style-type: none"> ・NavisWorksを使用。異種間調整の効率化。(協力会社) ・Twinmotionを使用。リアルパースによるディテール確認。(施主、設計者) ・3Dモデルによる見える化(現場管理)
6	職長会の会費負担について、貴社ではどのような方針や対応を取られているか、現状の運用方法について詳しく教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> ●当作業所(会社として統一された運用ではありません)では、職長会費は収支を含め、すべて職長会で運用して貰っています。職長会を活性化させる為の懇親会費用の一部は作業所として負担していました。すべて職長会で運用して貰っていますので、若手現場監督が「石鹸がありません！」とかの雑用を言われることもありません。
7	施工BIMを活用する際に、建築設備関連で特に課題と感じられた点があれば、具体的な事例や対応策も含めてご教授いただけますと幸いです。	<ul style="list-style-type: none"> ●課題 <ul style="list-style-type: none"> 建築設備設計での設備モデルは自社では対応出来てない。また、設計と施工で使用しているCADソフトの仕様が違う。 ゼネコン:Rebro サブコン:Tfms ●対応策 <ul style="list-style-type: none"> 設備モデルをゼネコンで作成できるように体制を整える。(外注含め)使用ツールを一本化する。
8	BIM施工図において、施主要望による変更対応を行う際に、どのような取り組みや工夫をされているか、現場での実践例を交えてご説明ください。	<ul style="list-style-type: none"> ・週1回定例後の図面変更周知会を行う。 ・フロアで変更対応する人を決める。 ・連絡書がでて二週間以内には修正完了出来るように努める。
9	施工BIMから2D図面への展開方法について、どのような手順や工夫をされているか、情報公開可能な範囲で具体的にご紹介いただけますか。	<ul style="list-style-type: none"> ●手順、工夫 <ul style="list-style-type: none"> 初期施工図作図時に図面縮尺、線分の太さや色、符号の仕様や配置、モデルの詳細度(LOD)などを所長、上司と相談をした上で作図を開始する。施工BIM作図後の2D図面(図面の見易さ)の変更をなくす。符号(梁符号仕様)や壁詳細(LGSの有無)等 ※変更が必要になるとファミリに影響する。
10	次期所長の現場受け入れ研修において、具体的にどのような指導を行っているか、また研修後に社員から寄せられた意見や成果について、教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> ●如何にして自分が納得できる建築物ができるか(品質もそうですが、現場運営などのプロセス)を力説するようにしていました(テクニカルなことはそのうち覚えると思います)成功は部下のお陰、失敗は自分が悪い...という気持ちを持ち続けければ、部下はついてくる...というような私の考えや経験を主体に話しました。 ●同じ会社ではありますが、支店が変わればやり方や考え方が違うという、私自身の発見があり、勉強になりました。研修生はさまざまな受け取りをしていましたが、原価管理手法とかを聞いたがっていた方もいました。

講演3 株式会社 竹中工務店 深沢様への質問・回答

	質問	回答
1	熱い思いがよく続くなと思った。50代くらいで萎えてくることが多いのに持続させる秘訣はあるのでしょうか	【挑戦＝社会貢献】という思いを持ち続けることが重要だと思います。自分の探求心が役に立つため、経験を積みれば積むほど挑戦項目ができるため、思いは尽きません。
2	所長の情熱はどこまでも途切れることがないのか、ご家族を養う気持ちでプロを目指して乗り切っているとのことですが、気持ちの切り替え方や休日の過ごし方でどうリフレッシュしているかはお聞きたいです。	妻といえるもしくは家事を行うと心身共にリフレッシュできます。また、学びが最高の遊びだと考えているので、歴史などを学ぶと世俗から解放されます。
3	所長の熱い思いは伝わってきたのですが、本社工務部との連携において、どこまで共有されているのが気になりました。御社では、作業所長の権限で本社の工務部を使い倒すことが出来る体制を取られているのでしょうか？	工務とも一緒にプロジェクトを作り上げていきます。入札時、受注後の設計明細時、着工後の期中と常に情報を共有しながら最適協力会社や材料を選定して進めて行きます。
4	他部署からの協力を得る際に、どのようなアプローチや説得方法が効果的だったのか教えてください。	【社会貢献】【全く新しいことを行う】など挑戦を軸に情熱的に説明して、竹中工務店ならこの領域まで達成する必要があるため、力を貸してくれないかと説明します。前提が貢献性が高いので、熱量を上げれば結構皆さん聞く耳持って頂けます。
5	問題・課題をクリアしていく過程で、特に困難だった事例とその解決方法について知りたい	開発したTS3工法(仮ボルトで屏風建てる工法)を成立させるために、設計段階で日割り工程を立案して、建方手順に合わせて地震も考慮しながら施工時解析を行い、何度も工程を検討して、構造設計や本社とトライアンドエラーを繰り返して、最適解を見つけたときですが、実施に関しては慣例を打破するために、本社の重鎮から罵や鍛冶工と何度も議論するなど困難しかありませんでした。解決方法は自分の信念が信じられるなら、身近な部下に自分と全く同じ信念を共有した人材を配置し(孤立しないため)、粘り強く関係者に実証して、何度も何度も説明することです。一方で違うと思ったら引きずらずにパッと止める(方針転換)ことも重要です。ちなみに私は初志貫徹の考えは微妙です。建築は与条件が多く、絶えず変化するので状況によって方針はじゃんじゃん変えていきます。部下にはブレた瞬間に理由を説明して理解を得ます。堅物にならないよう気を付けています。